

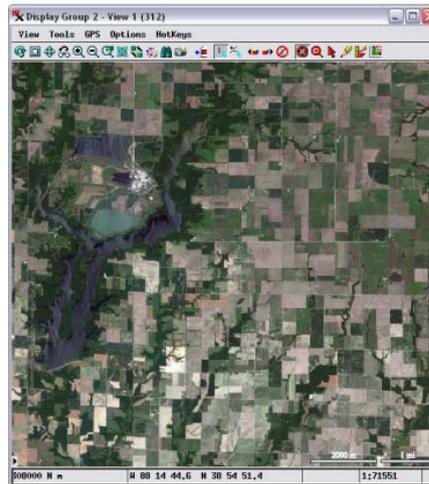
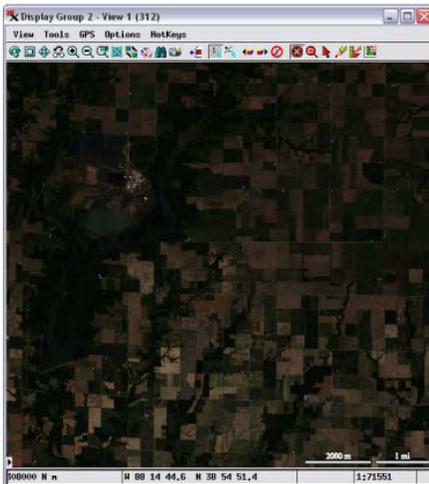
カラー合成画像のコントラスト調整

例えば、ナチュラルカラー又はカラー赤外線画像の衛星や航空写真を24ビットカラー合成形式で入手することができます。24ビットカラー合成画像では、各画像セルは3つの値を持ち、それぞれ3つのカラーバンド値を表しています。TNT製品で24ビット合成画像を表示するとき、自動コントラスト調整ツールを使って画像のコントラストや明るさを調整したり、色成分毎にコントラスト設定を行い、保存することができます。

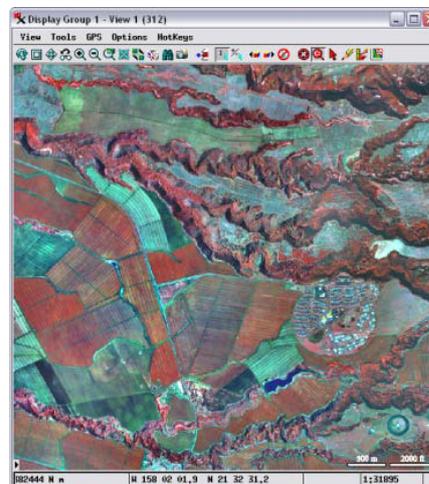
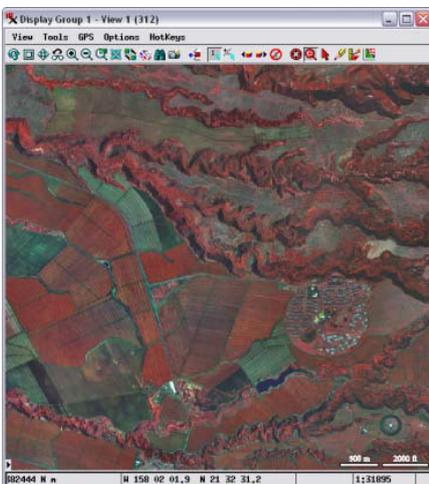
24ビットカラー合成画像の〈コントラスト強調 (Contrast Enhancement)〉ウィンドウ (表示マネージャでレイヤのマウス右ボタンメニューから開く) は、RGB ラスタレイヤの3つの個々の画像バンドを使って行う場合と同じです。赤、緑、青のコンポーネント用に独立したタブパネルが提供され、自動計算されるヒストグラムを使用して明るさと

コントラストを個別に調整できます。調整値はその合成画像と一緒に各成分毎に保存されます。いくつかのコントラスト調整手法から選択し、複数のコントラストテーブルをコンポジットラスタ画像に保存することができます。

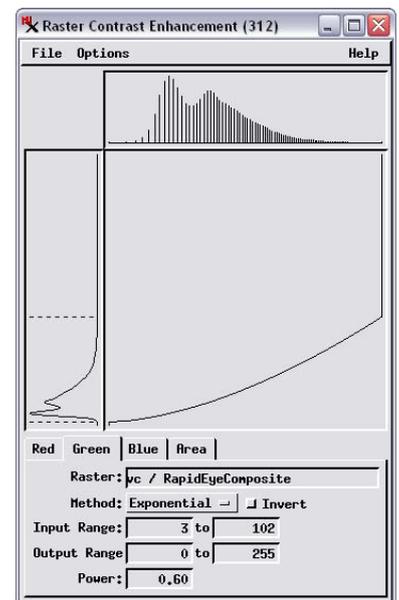
24ビットコンポジットラスタ用の〈ラスタレイヤコントロール〉ウィンドウの〈オブジェクト〉タブパネルにはコントラストメニューがあり、自動コントラスト手法、もしくは各カラーチャンネル用に保存したコントラストテーブルを選択することができます。これらのコントラストオプションは TNT プロジェクトファイルに保存されている24ビットのラスタオブジェクトおよび、TIFF、JPEG、JP2、MrSID 圧縮その他を含む、サポートされている任意の24ビット画像フォーマットに使用できます。



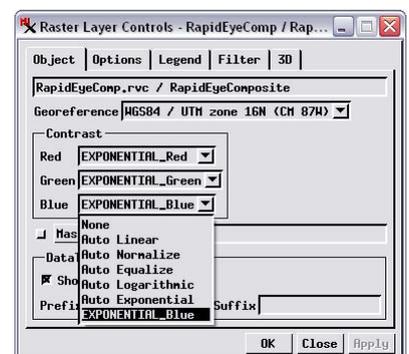
農業地域のセルサイズ5メートル RapidEye 衛星画像の一部。左図：ナチュラルカラー 24ビット合成ラスタオブジェクト。コントラスト補正無しの raw データ画像バンドから作成。合成画像は非常に暗く、低いコントラストです。右図：同じ合成ラスタオブジェクトを、TNTmips の表示処理において指数コントラストテーブルを適用して表示したものを。



アメリカ合衆国オアフ島、農村地域の1メートルカラー赤外線オルソ画像の一部。左図：コントラストの低い受信されたそのままの raw データの24ビットカラー合成画像。右図：同じ合成ラスタオブジェクトを TNTmips の表示処理において線形コントラストテーブルを使って表示したものを。



カラー合成ラスタオブジェクト用の〈コントラスト強調〉ウィンドウ。タブパネルがあり、赤、緑、青の表示コンポーネントの明るさとコントラストを個別に調整できます。



〈ラスタレイヤコントロール〉ウィンドウでは、表示されているカラー合成ラスタオブジェクトの各色成分に対して、自動コントラスト強調または保存されたコントラストテーブルを選択することができます。